**3日目の実装計画: お問い合わせフォームの開発**

**より実践的かつ段階的なアプローチで、お問い合わせフォームを実装していきましょう。**

**午前の部 (9:00 ~ 12:00)**

**Step 1: フォームのスタイルとレイアウト設定 (9:00 ~ 9:45)**

**まず、お問い合わせフォーム用のスタイルを定義します。**

テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

これらのスタイルは、フォームの各要素の見た目と配置を制御します。maxWidthを使用してフォームの幅を制限し、marginを使って中央寄せにしています。

**Step 2: 基本的なフォーム構造の実装 (9:45 ~ 10:30)**

次に、Contact.tsxに基本的なフォーム構造を実装します。

テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。モニター画面に映る文字

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。コンピューターの画面のスクリーンショット

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

このコードでは以下の重要な要素を実装しています：

* useStateを使用してフォームデータを管理
* テキストフィールドの変更をハンドリングする関数
* フォーム送信をハンドリングする関数
* レスポンシブなグリッドレイアウト（小さい画面では1列、大きい画面では2列）
* 必須フィールドのマーキング

**Step 3: フォーム送信の状態管理 (10:30 ~ 11:15)**

* フォーム送信時のユーザーフィードバックを改善するために、送信状態を管理する機能を追加します。

テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。アイコン

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

このコードは送信後のユーザーフィードバックを提供し、フォームをリセットします。成功メッセージはスタイル付きのBoxとして表示されます。

**Step 4: 基本的なバリデーションの追加 (11:15 ~ 12:00)**

フォームにバリデーションを追加して、ユーザー入力の検証を行います。

テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。モニター画面に映る文字

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

このステップでは、各フィールドに基本的なバリデーションを追加しました。空の必須フィールドや無効なメールアドレスを検出し、適切なエラーメッセージを表示します。

**午後の部 (13:00 ~ 18:00)**

**Step 5: 送信中の状態表示 (13:00 ~ 14:00)**

ユーザー体験を向上させるために、フォーム送信中の状態を表示します。

モニター画面に映る文字のスクリーンショット

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。四角形 が含まれている画像

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

このコードは送信中の状態をシミュレートし、ボタンの状態とテキストを変更することで視覚的なフィードバックを提供します。また、成功メッセージが5秒後に自動的に消えるようにしています。

**Step 6: お問い合わせ種別の追加 (14:00 ~ 15:30)**

フォームにドロップダウンメニューを追加して、お問い合わせ種別を選択できるようにします。

テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。タイムライン が含まれている画像

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

このステップでは、Material UIのSelect、MenuItem、FormControlコンポーネントを使用して、ドロップダウンメニューを実装しました。また、選択が必須となるようにバリデーションも追加しています。

**Step 7: Alertコンポーネントによるフィードバック強化 (15:30 ~ 16:30)**

Material UIのAlertコンポーネントを使用して、より分かりやすいフィードバックを提供します。

テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。パソコン画面のスクリーンショット

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

このコードでは、Material UIのAlertコンポーネントを使用して、成功とエラーのメッセージをより視覚的に表示します。また、メッセージを閉じるボタンも付いています。

**Step 8: フォームのリセット機能の追加 (16:30 ~ 17:15)**

ユーザーがフォームをリセットできるように、専用のボタンを追加します。

テキスト

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。グラフィカル ユーザー インターフェイス が含まれている画像

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

このコードではフォームをリセットするボタンを追加し、送信ボタンとの間にスペースを設けています。ボタンをクリックすると、フォームデータとエラー状態がクリアされます。

**Step 9: 最終確認とテスト (17:15 ~ 18:00)**

開発したフォームを様々な状況でテストし、必要に応じて調整します。

テストする内容：

1. 必須フィールドを空のままで送信
2. 無効なメールアドレスでの送信
3. すべてのフィールドを正しく入力して送信
4. お問い合わせ種別を選択せずに送信
5. 送信中の状態表示
6. 成功メッセージとエラーメッセージ
7. フォームのリセット機能

また、様々な画面サイズでのレスポンシブ性もチェックします。

**3日目のまとめ**

今日は以下の内容を実装しました：

* 基本的なお問い合わせフォームの構造とスタイリング
* フォームデータの状態管理
* 入力検証によるバリデーション
* 送信中と送信後のユーザーフィードバック
* お問い合わせ種別のドロップダウンメニュー
* Material UIのAlertコンポーネントによる通知
* フォームリセット機能